2026 年 8 月 10 日

選手・関係者各位

東北学生テニス連盟
幹事長　田中江梨奈

東北学生テニス選手権大会におけるヒートルールの適用について

東北学生テニス選手権大会では例年の猛暑と暑さによる選手への負担を考慮し、暑熱下でのプレーの危険性への対応策として以下の通りの対応をさせていただきます。

1.　ヒートルールの採用

東北学生テニス選手権大会では JTA 公式トーナメント協議関連規則に基づき、全試合においてヒートルールを採用する。環境省が公開する暑さ指数(WBGT)において WBGT 31℃以上を記録した場合、ファイナルセット前に 10 分間の休憩(セットブレークを含む)が認められる。この 10 分間の休憩ではトイレ、着替えは可能だが、コーチングを受けることは出来ない。試合進行中に気温が下がった場合でも、一度ヒートルールが決定された試合には、試合途中に中断がない限り休憩は解除されない。またこの休憩のために、泉庭球場ではクラブハウスの一部を、東北大学川内キャンパスでは一部の教室を開放する。WBGT 32.2℃以上を記録した場合、学連内で協議して中断または開始の遅延の判断を下す場合がある。これ以外の場合であっても暑さ対策として OP の変更といった措置を取る場合がある。

「環境省熱中症予防情報サイト　暑さ指数」 https://www.wbgt.env.go.jp/wbgt_data.php

2.　JTA 公式トーナメント協議規則「25.メディカルルール」の「8.身体的プレーの限界」の適用

今大会では JTA 公式トーナメント協議規則「25.メディカルルール」の「8.身体的プレーの限界」に基づき、レフェリーが付く試合ではレフェリーが、その他の試合については学連が判断し、選手が身体的に試合を再開、続行できる状態でないとした場合、選手を棄権、リタイアさせる最終判断を行う。

【具体的な暑熱対策、注意喚起】・・・・・別紙参照

以上

【別紙】

具体的な暑熱対策及び注意喚起

- 出場選手

  自己責任で飲食、睡眠、試合準備等を管理してください。

  ・冷却用アイス、ドリンクの準備
  ・スポーツドリンク、経口補水液などの塩分、糖分が接種できるものの用意
  ・服装、帽子、日焼け止め、日傘などの日除けの準備
  （白を基調とした服装、サンバイザーでなく帽子を推奨します）
  ・緊急連絡先、連絡方法の確認
  ・コート後方にクーラーボックス等を置くことは可能なので必要に応じて用意
  ・ポイント、ゲーム、セット間の水分補給の徹底

- 会場準備

  ・ヒートルール適用時、試合終了後の休憩のため会場ごとに以下の対応を取ります
  泉庭球場：クラブハウスの一部開放、更衣室(冷房あり)を準備
  東北大学：一部教室(冷房あり)の開放
  注）これらの目的以外での利用はお控えください
  日陰のある場所は譲り合いをお願いします

- 試合形式

  複：全試合ファイナル 10 ポイントタイブレーク　ノーアドバンデージ
  単:ザベストオブ 3 タイブレークセット(予選はファイナル 10 ポイントタイブレーク)
  ※試合形式を変更する可能性もございます

- その他

  ・試合時間短縮のため、以下の JTA ルールを厳守してください
  ＊試合前ウォームアップ：5 分
  ＊ポイント間　　：25 秒
  ＊エンドチェンジ　　：90 秒